

株価形成に関する実証研究

研究者プロフィール

- ・ 経営学部 経営学科 教授 松村尚彦
- ・ 専門分野：実証ファイナンス
- ・ 研究分野：
- ・ 所属学会：日本ファイナンス学会、ジャフィー
- ・ 経歴：1983年～2001年 現三井住友銀行
2001年～現在東北学院大学准教授を経て現職
- ・ 学位：博士（学術）

研究内容

株価データ、財務データ、アナリスト予想データを使って、株価形成の要因を明らかにする。

特に行動ファイナンスの仮説（行動バイアスが株価にゆがみを与えている）を利用して、超過リターンが得られる機会が存在するかどうかについて実証的な研究をしてきた。

その他株価の動きを要因ごとに分解して説明するファクターモデルや情報ダイナミクスモデルを用いたOhlsonモデルによる株価形成に関する研究も行ってきた。

株価、財務データ
アナリスト予想データ



行動ファイナンス
ファクターモデル
Ohlsonモデル



超過リターン
獲得機会の検証

関連キーワード

行動ファイナンス 株価形成 Ohlsonモデル、クオンツ運用 α 戦略

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

行動ファイナンスの仮説（行動バイアスが株価にゆがみを与えている）、ファクターモデル、Ohlsonモデルなどを用いて、超過リターン獲得機会を見つけ出し、それを証券運用の α モデルに応用するアイデアを提供する。

一般向けの資産運用講座や金融リテラシー教育においても、通常の合理的な資産形成の方法に加えて、行動バイアスによってもたらされる損失を、最小限に抑える方法について講義することができる。

超過リターン
獲得機会の検証



超過リターンの獲得を
目指す α モデルのアイ
ディア提供



α モデルの開発

研究者への連絡先

- ・ E-mail アドレス:matsumura@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
- ・ 研究室電話：022-721-3418